

## 淀川水系河川整備計画原案等に関する質問・回答集 (第 67 回までの未回答分)

### 【凡例】

通し番号……質問のこの資料における通し番号

受付番号……受付時に付けた質問の番号 (不変)

説明委員会…質問を募集した時の開催委員会

回答委員会…質問への回答を行った、あるいは、予定している委員会

## ■ 受付番号・通し番号 対応表

受付番号	通し番号	受付番号	通し番号
57	1	834	29
67	2	956	30
151	6	998	15
219	5	1000	17
486	9	1005	20
488	11	1007	22
566	13	1013	24
567	14	1021	8
578	16	1024	10
579	18	1025	12
643	19	1031	4
646	21	1091	35
654	23	1092	36
666	25	1108	31
667	26	1112	32
668	27	1113	33
669	28	1114	34
717	3	1230	37
767	7		

□淀川水系河川整備計画原案等に関する質問・回答集(これまでの未回答分)

番号 今回新たに回答したもの及びこれまでの回答の補強等を行ったもの

通し番号	受付番号	質問対象	内容	質問者	回答	説明委員会	回答委員会
1	57	3.3.1洪水	整備計画における猪名川水系の治水の対象洪水が、既往第2位から既往最大へと大きく変わりました。1970年代から30年間達成できず、整備計画基礎案でも今後20～30年間に達成が見込まれないとして対象洪水から外されていた洪水を再び対象としたのですから、提案された整備計画の実行可能性(20～30年の実行タイムスケジュールと見積もり費用)を示してください。	綾委員	総合治水目標洪水に対する整備の目途がたち、今後20～30年間の目標として戦後最大洪水を対象としています。事業費については第69回委員会でお示します。	59	61
2	67	4.3治水・防災	47ページの第一パラグラフでは、河川整備基本方針や計画は今後30年間で実現できることを書くべきであって、いきなり「そのすべてを実施することはできない。」というような文言はおかしい。もっと明確に、30年以内にやることとそれ以上の長期にわたってやることに区分し、前者は責任をもってやると断言しなければ言葉の遊びになってしまうのではないのか	河田委員	現在の堤防は、施設能力以下の洪水に対しても決壊するおそれがあることから、堤防補強には最優先で取り組む必要があります。 ただし、あらゆる施設能力以上の洪水に対する堤防強化については、現在の技術的知見ではその強化策が確立していないことから、少しでも被害を軽減できる粘り強い堤防にするため、引き続き検討を進めるとともに、これまでと同様に堤防天端の舗装等工夫しながら対策を講じていきたいと考えています。 ここで記述していることは、ハード対策の目標は基本方針で定めた計画規模に応じた施設整備であります。整備計画期間中に一気に整備することは現実的に見て難しいことを率直に記述したものです。ただし、当面優先的に実施すべき整備内容は、長期的な取り組みの中で整備順序を考慮して設定しているものであり、ご指摘のとおり、長期的な方針と一貫した考え方に基づき「当面、優先的に実施すべき整備に積極的に取り組む」という姿勢に変わりはありません。	58	61
3	717	4.3治水・防災	【67への再質問①】 回答になっていない。再回答をお願いします。	宮本委員	現在の堤防は、施設能力以下の洪水に対しても決壊するおそれがあることから、堤防補強には最優先で取り組む必要があります。 ただし、あらゆる施設能力以上の洪水に対する堤防強化については、現在の技術的知見ではその強化策が確立していないことから、少しでも被害を軽減できる粘り強い堤防にするため、引き続き検討を進めるとともに、これまでと同様に堤防天端の舗装等工夫しながら対策を講じていきたいと考えています。 ここで記述していることは、ハード対策の目標は基本方針で定めた計画規模に応じた施設整備であります。整備計画期間中に一気に整備することは現実的に見て難しいことを率直に記述したものです。ただし、当面優先的に実施すべき整備内容は、長期的な取り組みの中で整備順序を考慮して設定しているものであり、ご指摘のとおり、長期的な方針と一貫した考え方に基づき「当面、優先的に実施すべき整備に積極的に取り組む」という姿勢に変わりはありません。	58	65
4	1031	4.3治水・防災	【717への再質問①】 整備計画で実施する施策の事業費および計画全体事業費を示して回答して下さい。	宮本委員	前回までに回答出来ていない事業費については第69回委員会でお示します。	65	66
5	219	4.3治水・防災	天災の場合と人災の場合はその対策は全く異なるものになると思います。洪水という天災が避けられないならその対策は「逃げる」というソフトなものが主体になると思いますが、「人災」ならその対策は河川管理者が行うハードなものが主体になります。現在その対策はどこまで進んでいるのでしょうか。その対策が十分でないなら、そこに至る時間と金額のロードマップが必要です。示していただきたく思います。	木村俊二郎	河川整備計画の事業メニューと事業費については第69回委員会でお示します。	59	61
6	151	4.3.2堤防の補強	・整備計画は限られた予算と期間が与えられた中で、何を優先して実施していくかを示す計画である。原案では(限定した目的)堤防補強について事業費が示されているが、他の事業については示されていない。各事業費を提示し、計画期間の想定事業費総額および優先度の考え方を踏まえて、どのようにして各事業を原案に盛り込んだかについて説明して下さい。	宮本委員	前回までに回答出来ていない事業費については現在精査中であり、精査後速やかに提示します。	58	61
7	767	4.3.2堤防の補強	【151への再質問①】 未回答	宮本委員	前回までに回答出来ていない事業費については現在精査中であり、精査後速やかに提示します。	58	65
8	1021	4.3.2堤防の補強	【767への再質問①】 未回答。	宮本委員	前回までに回答出来ていない事業費については第69回委員会でお示します。	65	66

通し番号	受付番号	質問対象	内容	質問者	回答	説明委員会	回答委員会
9	486	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	・猪名川、神崎川の掘削の範囲、掘削形状を縦横断面図で示して下さい。また、事業費を示して下さい。	宮本委員	掘削範囲を別紙-486(1)に、掘削縦断面図を別紙-486(2)に、掘削横断面図を別紙-486(3)に示します。事業費については関係機関と調整中であり、後ほど提出いたします。	62	65
10	1024	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	【486への再質問①】 未回答。	宮本委員	昭和35年洪水を狭窄部の上流及び下流において安全に流下させる方策として、狭窄部の開削(1700m <sup>3</sup> /s)+下流の河道掘削+一庫ダム放流量(345m <sup>3</sup> /s)の事業費は概ね700億円程度です。	65	66
11	488	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	・狭窄部開削の下流に対する影響をなくすことについての河床掘削と余野川ダムの比較検討結果を洪水シミュレーション結果、事業費及び環境への影響について説明して下さい。	宮本委員	昭和35年洪水を狭窄部の上流及び下流において安全に流下させる方策として、①狭窄部の開削(1700m <sup>3</sup> /s)+下流の河道掘削+一庫ダム放流量(345m <sup>3</sup> /s)と②狭窄部の開削(1700m <sup>3</sup> /s)+余野川ダム+余野川ダムの効果を加味した下流の河道掘削+一庫ダム放流量(345m <sup>3</sup> /s)と比較しました。なお、下流の河道掘削においては、狭窄部開削に係わる水位上昇を相殺するための河床掘削分を加えています(別紙-488(1))。河道掘削においては、現況の乾陸化、陸生植物の繁茂が著しい河道において、川らしい風景や生態系の再生に寄与できると考えています(別紙-488(2))。なお、事業費については関係機関と調整中であり、出来るだけ速やかに提示させていただきます。	62	65
12	1025	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	【488への再質問①】 未回答。	宮本委員	昭和35年洪水を狭窄部の上流及び下流において安全に流下させる方策として、①狭窄部の開削(1700m <sup>3</sup> /s)+下流の河道掘削+一庫ダム放流量(345m <sup>3</sup> /s)と②狭窄部の開削(1700m <sup>3</sup> /s)+余野川ダム+余野川ダムの効果を加味した下流の河道掘削+一庫ダム放流量(345m <sup>3</sup> /s)と比較しました。事業費は①が概ね700億円程度、②が概ね800億円程度となります。	65	66
13	566	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	事業費の概算をお教えてください。	高田直俊	河川整備計画の整備メニューと事業費については第69回委員会でお示しします。	63	65
14	567	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	・事業費、アロケーション、費用効果分析方法・結果を示して下さい。	宮本委員	前回までに回答出来ていない事業費については現在精査中であり、精査後速やかに提示します。	63	65
15	998	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	(大戸川ダム)【567への再質問①】 未回答。	宮本委員	大戸川ダム事業における総事業費は概ね1080億円程度です。なお、前回までに回答出来ていない事項については第69回委員会でお示しします。	65	66
16	578	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	・事業費、アロケーションおよび費用対効果分析方法・結果を示して下さい。	宮本委員	事業費については増額の有無について精査しているところであり、今後お示しします。	63	65
17	1000	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	(大戸川ダム)【578への再質問①】 未回答。	宮本委員	大戸川ダム事業における総事業費は概ね1080億円程度です。なお、前回までに回答出来ていないアロケーション及び費用対効果分析方法・結果については第69回委員会でお示しします。	65	66
18	579	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	事業費の概算をお教えてください。	高田直俊	大戸川ダム事業における総事業費は概ね1080億円程度です。なお、前回までに回答出来ていないアロケーション及び費用対効果分析方法・結果については第69回委員会でお示しします。	63	65
19	643	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	スライドp24・川上ダムの事業費、アロケ、費用対効果分析方法及び結果を示して下さい。	宮本委員	事業費等については現在精査中です。	63	65
20	1005	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	(川上ダム)【643への再質問①】 未回答。	宮本委員	川上ダムの規模縮小後のダム建設に要する額、費用負担については、第69回流域委員会審議資料「川上ダム建設事業」に記載しています。費用対効果方法及び結果については、別紙-1005に示します。	65	66

通し番号	受付番号	質問対象	内容	質問者	回答	説明委員会	回答委員会
21	646	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	スライドp46・高山ダム、青蓮寺ダム、布目ダム、比奈知ダムの現況堆砂量、陸上掘削可能量、年流入推定量、浚渫方法・単価、陸上掘削方法・単価を示して、ダムの長寿命化に必要な830万m <sup>3</sup> が最適であること及び830万m <sup>3</sup> の費用対効果分析方法・結果を示して下さい。	宮本委員	木津川水系ダム群においては、高山ダム(堆砂率:平成18年実績48%、計画値37%)をはじめ、堆砂が進行しています。 この4ダムにおいて、洪水調節容量及び不特定容量内の堆砂に換算すると、合計で、約147万m <sup>3</sup> 約154万m <sup>3</sup> の土砂が既に堆積し、今後年間約4万m <sup>3</sup> の土砂が堆積することが見込まれています。 単価については、浚渫ではダム湖に浚渫船を持ち込んでの浚渫を考えており、約34,000円/m <sup>3</sup> 約35,000円/m <sup>3</sup> 、陸上掘削ではバックホウ(0.6m <sup>3</sup> )による掘削を考えており、約4,300円/m <sup>3</sup> の単価を見込んでいます。 また、スライド49にお示しているとおり、代替容量と5ダムの堆砂除去費用の関係から830万m <sup>3</sup> を設定しました。 第65回委員会でお示しました。 ※浚渫単価につきまして、転記ミスがありましたので修正しました。 ※堆砂量に間違いがありましたので修正しました。	63	65
22	1007	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	(川上ダム)【646への再質問①】 65回委員会での説明では、具体的な費用での説明ができていない。再説明	宮本委員	第69回流域委員会審議資料「川上ダム建設事業」に記載しています。	65	66
23	654	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	事業費の概算をお教えてください。	高田直俊	前回までに回答出来ていない事業費については現在精査中であり、精査後速やかに提示します。	63	65
24	1013	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	(川上ダム)【654への再質問①】 未回答。	宮本委員	第69回流域委員会審議資料「川上ダム建設事業」に記載しています。	65	66
25	666	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	川上ダム計画について、に現(旧)計画 貯水池容量配分図と新計画の配分図が示されている。殆んど同規模であるが、旧の当初「建設工事費」と新の「建設工事費」を示されたい。	浅野隆彦	第69回流域委員会審議資料「川上ダム建設事業」に記載しています。	63	65
26	667	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	川上ダム計画における新の「建設工事費」のうち、「水道用水利水者」(三重県)の負担額はいくらか？	浅野隆彦	第69回流域委員会審議資料「川上ダム建設事業」に記載しています。	63	65
27	668	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	川上ダム計画における新の「建設工事費」のうち、「治水利益者」の夫々の負担額を示されたい。	浅野隆彦	第69回流域委員会審議資料「川上ダム建設事業」説明資料に記載しています。	63	65
28	669	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	「既設ダムの長寿命化のための補給」については、何処に、どれほどの負担額がかかるのか？	浅野隆彦	長寿命化容量の負担は、対象ダム(高山ダム、青蓮寺ダム、布目ダム、比奈知ダム、川上ダム)の代替容量対象範囲内の堆砂除去量をもとに、今後、大阪府、京都府、奈良県、三重県と協議していくこととしています。	63	65
29	834	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	大戸川ダムの建設費の総額(計画)と、流域自治体(滋賀県、京都府、大阪府)の負担額はそれぞれ如何ほどですか。	川上委員	大戸川ダム事業における総事業費は概ね1080億円程度です。 費用負担については、現在関係機関と調整中です。	63	65
30	956	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	(川上ダム)既設ダムの長寿命化について 実施方針の指示という法的根拠が、根本から代わりました。ダム建設のアロケーション、事業費、等の公表と法的根拠を示してください。	畑中尚	川上ダムの規模縮小後のダム建設に要する額、費用負担については、第69回流域委員会審議資料「川上ダム建設事業」に記載しています。 法的根拠としては、水資源機構が事業内容について関係機関と協議したうえ、主務大臣から事業実施計画(変更)の認可を受け、事業を実施していきます。	65	67
31	1108	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	(川上ダム)既設ダムの長寿命化について 幾つかの方法、手段をあげて経費の検討内容を示されたい。	浅野隆彦	第69回流域委員会審議資料「川上ダム建設事業」に記載しています。	65	66

通し番号	受付番号	質問対象	内容	質問者	回答	説明委員会	回答委員会
32	1112	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	(川上ダム)第65回委員会(審議資料2-4-2)「既設ダムの長寿命化について(補足説明)」 上記(受付番号1111)の質問に関連して、高山ダム、青蓮寺ダムそれぞれの次の数値をお示し下さい。 1)常時満水位でのダム湖の湛水面積 2)不特定容量を川上ダムで代替することにより“新たに”陸上掘削が可能となる面積 3)このことにより浚渫工法から陸上掘削工法への変更が可能となることによる事業費の減少額 4)川上ダムに「長寿命化容量」を設けるに伴う事業費の増加額	野村東洋夫	1)高山ダム 2.60km <sup>2</sup> 、青蓮寺ダム 0.83km <sup>2</sup> 2)高山ダム 1.86km <sup>2</sup> 、青蓮寺ダム 0.79km <sup>2</sup> 3)第69回流域委員会審議資料「川上ダム建設事業」に記載しています。 4)第69回流域委員会審議資料「川上ダム建設事業」に記載しています。	65	66
33	1113	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	(川上ダム)既設ダムの長寿命化について 代替容量を増やすための建設費用を明らかにしてください。	本多委員	第69回流域委員会審議資料「川上ダム建設事業」に記載しています。	65	66
34	1114	4.3.3上下流・本支川間のバランスに基づく治水対策	(川上ダム)既設ダムの長寿命化について 代替容量を建設し浚渫および掘削の場合と従来の浚渫の場合とで1立方メートルあたりの費用差はどれくらいになりますか？ 単価で比較したわかりやすい説明をお願いします。代替容量のための施設費用を計算に入れてください。	本多委員	堆砂量1立方メートル当たりの費用は、 長寿命化対策(ダム建設費用+掘削)では、約16,800円 浚渫では 約35,000円 となります。 詳細は、第69回流域委員会審議資料「川上ダム建設事業」に記載しています。	65	66
35	1091	4.4利水	再開発事業における総費用はいくらで、そのうち利水事業分の京都府及び3市1町の負担金はいくらになるのでしょうか。	梅原孝	天ヶ瀬ダム再開発事業における総事業費は概ね430億円程度です。費用負担については、現在関係機関と調整中です。 なお、市町負担については有りません。	64	66
36	1092	4.4利水	発電量の増も見込まれていますが、関電の再開発事業における負担金はいくらになるのでしょうか。	梅原孝	前回までに回答出来ていない事業費については現在精査中であり、精査後速やかに提示します。	64	66
37	1230	4.4利水	【1092への再質問①】 質問回答・No.1092 関西電力の負担割合、負担金についても回答ください。	梅原孝	天ヶ瀬ダム再開発事業における総事業費は概ね430億円程度です。費用負担については、現在関係機関と調整中です。 なお、市町負担については有りません。	66	67